



美濃加茂市立太田小学校だより 第12号

# 大銀杏



令和6年2月26日 発行

～太田小学校は「FROM-0歳プラン2」を大切にしたい教育活動を進めています～



## 一流とは・・・ 奇跡とは・・・

～ 新たな一歩をふみ出す皆さんへ ～

校長 梅村 高志

■先日TVで、岐阜県出身のモーグルスキーヤー堀島行真選手の快挙を大きく取り上げていました。世界の表彰台に立つ堂々たる雄姿が、“ふるさと岐阜”に大きな活力と夢を与えてくれます。彼を見ながら私は、元オリンピック選手だった一人の女性を思い出しました。養老町出身の中島志保さんです。プロのスキーヤーとして活躍した彼女は、ワールドカップで2度優勝、2006年にはトリノオリンピックにも出場した、やはり岐阜県が誇る一流アスリートです。

彼女が引退した後、当時私が従事していた仕事の関係で、何度もお会いする機会に恵まれました。その一つが県内の小中学生に向けた『一流に学ぶ出前授業』です。幸いにも、担当者として彼女に同行できた私は、数えきれないほどの珠玉の金言に感銘を受けました。ある日のお話を紹介します。

\*

\*

\*

■皆さんは、自分の夢がどうすれば叶うかを真剣に考えたことはありますか。たとえそれが壮大な夢だったとしても、大事なことはまず“**小さな目標**”を打ち立てることなのです。今日は私が「オリンピックに出場するぞ」という大きな目標を実現するためにどんなことをしたのかをお話しします。

やるべきことは沢山ありました。そんな中で一つ貫いたことは、手の届くこと、つまり目の前の小さな目標を一つ一つクリアすることでした。朝何時に起きるとか、準備体操を30分行うとか、そんな当たり前のことを私は決して疎（おろそ）かにしませんでした。夢を叶える上で常に自分にプレッシャーもかけました。苦しいけれど、来る日も来る日も、同じことを繰り返すことが結果への近道なんだと信じていたからです。

もし「一流とは？」と尋ねられたら私は、「同じことを誰よりも繰り返すことのできる能力」だと即答します。本番に確実に技が決まるように全ての準備をします。やり残しなんてあり得ません。夢は大きくていいのです。夢があるからこそ、努力する甲斐があるのです。練習方法の中に「メンタルトレーニング」というものがあります。試合当日とまったく同じ生活を1週間前からします。インタビューの練習までもするのです。目的は「心を強くもつため」です。当時、私がトリノオリンピックへの出場権を獲得するためにはどうしても次のワールドカップで「優勝」することが必要条件でした。そして奇跡は起こったのです。**奇跡とは・・・努力している人、準備を怠らなかった人にしか訪れません。**夢を追い続けた結果、勝負の大会でついに金メダルを掴んだ「あの日の感動」を一生忘れないでしょう。

